

# 第 17 回福島県都市計画審議会都市政策推進専門小委員会 会議の概要

日 時 令和 8 年 1 月 29 日(木) 10:00～11:30  
場 所 杉妻会館 3 階百合

## 1. 開会

## 2. 議題

「都市と田園地域等が共生するふくしまの都市づくり  
～新しい時代に対応した都市づくりビジョン～」の検証について

## 3. 審議内容

◇事務局より（今回の小委員会の趣旨）

○前回小委員会（令和 3 年 4 月開催）での「都市づくりビジョン」に対する委員の意見や福島県都市計画基礎調査の結果等を踏まえ、都市づくりビジョンの検証結果を作成したので、御意見を伺いたい。

◇都市づくりビジョンの検証結果に対する委員の主な意見

○都市づくりビジョンに用いられている「言葉」について、バックデータに基づき、文章を表現すること。

○文章の構成について、マクロ（広義）的な表現とミクロ（狭義）的な表現が混在しているので、整理すること。

○文章の構成について、ハード面とソフト面の表現が混在しているので、整理すること。

○基本方針の「ひと・まち・くるまが共生する都市づくり」について、「ひと・くるま」の共生は、都市づくりビジョンが策定された当時は、よく使われていた言葉ではあるが、マクロ（広義）的な視点で捉えると、現在の時代にそぐわない表現であるため、再考すること。

○基本方針の「ひと・まち・くるまが共生する都市づくり」について、誰もが暮らしやすい都市とあるが、県民だけではなく、県外からの移住者やインバウンドからの視点も考慮し、「誰も取り残さない」のような表現となるよう再考すること。

○都市計画区域の土地利用について、宅地、都市的空地、自然的空地の各空地がどのように変化したのか、細目ごとに分類すること。さらに、都市計画区域の人口について、人口と年齢のほかに世帯数のデータも追加し、家族構成の変化も表現すること。これらの土地利用のデータと人口等のデータを踏まえ、社会の変化と課題を抽出すると、時代に即した都市づくりビジョンになり得ると考えられる。

○都市計画の視点から、将来を見据え、都市圏や地域の広域的なつながりを強調し、表現を追加すること。

◇事務局より（今後の予定）

○委員の御意見をもとに検討し、再度、小委員会で御審議いただきたい。

以上